



熊本市議会議員（北区選出） 松川よしのり市政報告

令和7年8月 Vol.8



8月の豪雨で被害に遭われた皆さんに、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と安心した生活の回復をお祈りいたします。熊本地震の経験も踏まえ、災害に強く、子どもたちや次の世代が安心して暮らせる地域づくりに取組んでまいります。

なお、熊本市議会第3回定例会は、9月1日に開会します。市政の課題や補正予算など重要案件が審議されます。皆さまから頂いた声をしっかり議場に届け、地域の発展と安心につなげてまいります。また、今回の市政報告では、要望活動を行った「国道3号線植木バイパス」を取り上げました。ぜひご一読ください。

松川 善範



交通渋滞を減らし、暮らしやすい未来へ

熊本市の交通渋滞は、地域経済や市民生活に大きな影響を及ぼす深刻な課題となっています。

特に熊本市北部から中心部、そして九州縦貫自動車道の植木インター周辺では、交通量の増大により、渋滞が一層深刻化しています。

交通渋滞の悪影響

交通渋滞がもたらす影響としては、労働生産性の低下や燃料費増大による経済的損失、精神的ストレスによる生活の質の低下、大気汚染など環境への悪影響が挙げられます。さらに、交通事故や災害時など、社会全体のリスク増大にも直結します。

熊本地震から学んだ影響と課題

2016年の熊本地震では、九州縦貫自動車道（植木IC～八代IC）が全面通行止めとなり、国道3号線などの主要道路に車両が集中しました。これにより深刻な渋滞が発生し、救急搬送や物資輸送に大きな支障をきました。

植木バイパスに寄せる期待

周辺環境への影響にも十分配慮しながら、交通渋滞の緩和が強く期待されます。

植木バイパスは、交通量の分散を図るだけでなく、災害時に主要道路へ集中する車両の分散にもつながります。これにより、物流の円滑化による経済活動への好影響や、観光客の移動効率や利便性の向上など、多方面での効果が期待されます。

植木バイパス事業の現状

整備は、一部区間の開通を経て段階的に進められており、現在は3工区の残り2.4km区間で埋蔵文化財調査が行われています。

都市計画上は、植木インターに直結する1工区が計画されていますが、現事業区間には含まれておらず、まだ事業化はされていません。

現事業の整備範囲は国道208号線まで、植木インター直結には至っていません。

一方、九州整備局によると、供用中の2工区（延長2.3km）と



▲植木インターまで延びる都市計画の植木バイパス

一昨年開通した3工区（延長0.9km／全体3.3km）の効果により、熊本市役所までの朝ピーク時の所要時間が平均13分短縮され、周辺道路の交通環境も改善されました。

植木インター接続の重要性

植木バイパスが植木インターにつながることで、移動時間の短縮や渋滞・事故の減少、物流や環境改善が進み、安心で暮らしやすい街をつくり、より良い未来につなげることができます。

植木バイパスの早期完成へ 市長要望に続き国へ要請

「国道3号線植木バイパス等の早期完成を進める会」は、議員団とともに国土交通省および財務省を訪問し、植木バイパスの早期完成を求める要望書をお渡しました。

国土交通省大臣政務官、国土交通省道路局長、国土交通省国土交通審議官、さらに財務省主計局主計官にお会いし、ご面談では「しっかりと検討する」とのコメントを頂戴しております。「国道3号線植木バイパス等の早期完成を進める会」の皆さまとともに、まずは植木インターからの未事業化区間を事業化区間に位置付け、早期整備の着手を進め、引き続き全線の早期完成を強く求めてまいります。



▲国道交通省へ、議員団とともに

松川善範事務所

〒861-0136

熊本市北区植木町岩野266-5 柚井ビル2-201

(ホームページ = <https://matsukawa-y.com>)



所属（市議会）

経済委員会／予算決算委員会／地域公共交通に関する特別委員会／山鹿植木広域行政事務組合議会議員

Facebookのご登録について



Facebookの「友達を検索」で松川善範を検索し、友達リクエストをしてください

Instagramのご登録について



Instagramの「検索」でアカウント名 [yoshinori_matsukawa](#) を検索し、フォローください